



仙台市立広瀬中学校

01 広中ってこんなところ

広瀬中学校は、東に青葉山、西には広大な農地が広がり、南に蕃山やサイカチ沼のある緑と水の豊かな地域にあります。学校は愛子駅に隣接しており、利便性抜群です。学区は東西に長く、陸前落合駅・陸前白沢駅から電車通学している生徒も多くいます。

また、広中には13の運動部・6つの文化部があり（季節部を除く）、活動がとても盛んです。部活動の加入率は80%を超え、各種大会でも素晴らしい成績をおさめています。



蕃山



校長
山家 智



PTA会長
伊藤 佳世



体育館



正面玄関

02 結束力が光る学校行事

広瀬中学校は、今年度30クラス・824名の生徒数を数える青葉区一の大規模校です。コロナ禍では全校生徒が一堂に集まることは難しかったのですが、今年7月に東京エレクトロンホール宮城で4年ぶりに全校揃っての合唱コンクールが行われ、各クラスの練習の成果を間近で鑑賞することができました。また、9月の文化祭でも全校生徒が体育館に集結し、文化部の発表や趣向を凝らした企画などで大変盛り上がりました。学年の枠を超えた交流も多く、結束して様々な行事に取り組む姿は圧巻です。



～Pフェス2023共通テーマ～

03 「ありがとうを伝えたいこの人」

広瀬中学校PTAが選ぶ、「ありがとうを伝えたいこの人」は、3学年副主任・数学担当の**伏谷史郎先生**です。もちろん広瀬中学校の全ての先生方が生徒たちに熱心に向き合っておられますが、特に伏谷先生は自身の受け持ちではない部活動の試合やコンクールなどにも多く足を運び、子ども達を直接激励されているほか、今年度は進路指導主事として「**第1志望全員合格**」をスローガンに掲げ、受験生親子を導いてくださっています。

ちょっとコワモテですが、ユーモアがあり生徒からも保護者からも信頼度抜群の伏谷先生に、「ありがとう」を伝えたいです。



04 校章に込められた願い



広瀬中学校の校章は、柏の葉がモチーフです。校章の3枚の柏の葉はそれぞれ、「**豊かな知性**」「**広い心**」「**たくましい身体**」への期待を表しています。また、校章の中の3つのは、それぞれが

真・善・美の追求を表しています。柏には、**やせた土地や乾燥に耐え、潮風に強く、紅葉後も落葉しない**で**翌春に新芽が芽吹くまで葉が落ちることがない**という特性があります。

広中生もいつか柏のように強く立派になれるよう、柏色の制服に身を包み、毎日勉強や部活に励んでいます。



所在地	仙台市青葉区愛子中央1丁目9-1
ホームページ	https://www.sendai-c.ed.jp/~hirosejh/
創立	昭和22年4月1日
開校記念日	11月1日（仙台市と旧宮城町の合併に伴い制定）